

子445

子645

実行する 出来、か

、の款 行くきいていた

五分 子445 行むも出来、

不出か午 了るの五分間 という款を石もい

出可

その日 おまに帰の方角

所をふいて 着かえして 口をゆすいで

か子 にとりえ

たしか 2じかい 帰ゆ 出来

部屋を 見すわし 奇かついた所を

より 方へ 命あす

それから 昨日の工ツセいの具命あし

気がついたら 二とを かまはじめる

今も付スタート、すて 四十分 かわつて

し、つて 二れが一日のほりきり

自室、 工ツセいの 掛り

すつかりきり

日レ、 田録に おい 布であおい 少、の 景福印

紙に リエツクサツク

子とは何もない

きれいに仕上がったか、とかがわかる  
去年、この年と同じ年をのりて考えよ

かきりにあつ

ひとづぶづぶやつていけは

いつの日の水 命のりよるに

やれとすると

あせうが ひとづぶづぶいとお

考えよも 実行が考えよといつていおるの

それとやりえにす

2025  
6/21